環境年報 2023

Environmental Annual Report 2023

アスカコーポレーション 株式会社

<目 次>

目次 1

経営理念、会社概要 2

ごあいさつ、環境組織 3

環境方針 4

環境マネジメントシステム 5

SDGｓの取組み 6

環境目標　2022年度実績 7

環境負荷実績 8

法令順守 9～10

地域との調和（コミュニケーション） 11

年次トピックス 12

環境活動 13

編集後記 14

【表紙の写真】 **直方市　春の遠賀川**

遠賀川は、福岡県嘉麻市の馬見山を源流とした長さ６１キロメートル、流域面積1,026㎢の一級河川です。
春になると、河川敷に桜、菜の花、チューリップが咲き、美しい遠賀川を見ることが出来ます。

■ 編集解説

１）「環境年報２０２３」は、当社の環境活動の取り組みと成果を、年次報告として取りまとめたもので今回が９回目の発行となります。

２）活動の実績は２０２２年度（2022年6月～2023年5月）を示しますがデータについては一部以前からの活動と直近の活動実績も含んでおります。

３）ご参考までに２０２２年度は弊社事業年度で第５３期にあたります。

本小冊子が「弊社環境活動」のご理解の一助にでもなれば幸いです。

経営理念

キラリ　人、技術、未来　そして自然

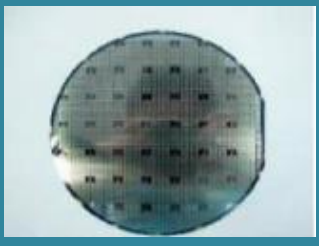
人が輝き、技術が輝く、そして未来を輝かせたい。またキラリ輝くアスカの表面処理技術によって、ユーザー商品の品質と未来技術を支え、企業として永続的に輝き続けたいのです。

会社概要

名　称　**アスカコーポレーション株式会社**
所在地　〒822-0007
福岡県直方市大字下境字黍田427-8
設立年　昭和４６年１月１８日
資本金　３,２００万円
代　表　代表取締役社長　阪　文孝
規　模　敷地面積　8,337 ㎡
建屋面積　3,009 ㎡
延床面積　6,726 ㎡
従業員　１３５名（2023-12-1 現在）
業　種　金属表面処理業（めっき処理）
（リードフレーム全面銀、Pdフープ、
セラミック振動子搭載基板へのめっき
外装フープ、ＵＢＭ、バックメタル）

＜アスカコーポレーション工場全景＞

【加工製品群】



ごあいさつ

お元氣様です！

皆様、こんにちは。

日頃より大変お世話になりまして誠にありがとうございます。

当社は経営理念に「キラリ 人 技術 未来そして自然」を掲げ、めっき技術の品質向上と未来技術の発展を通じて、より持続可能な未来を築くことに取り組んでまいりました。

私たちはこれからも、SDGs（持続可能な開発目標）に共感し、環境保全、地域社会との調和、法令遵守に真摯に取り組み、皆様と共に、より良い未来を築くために持続的な努力を続けて参る所存です。

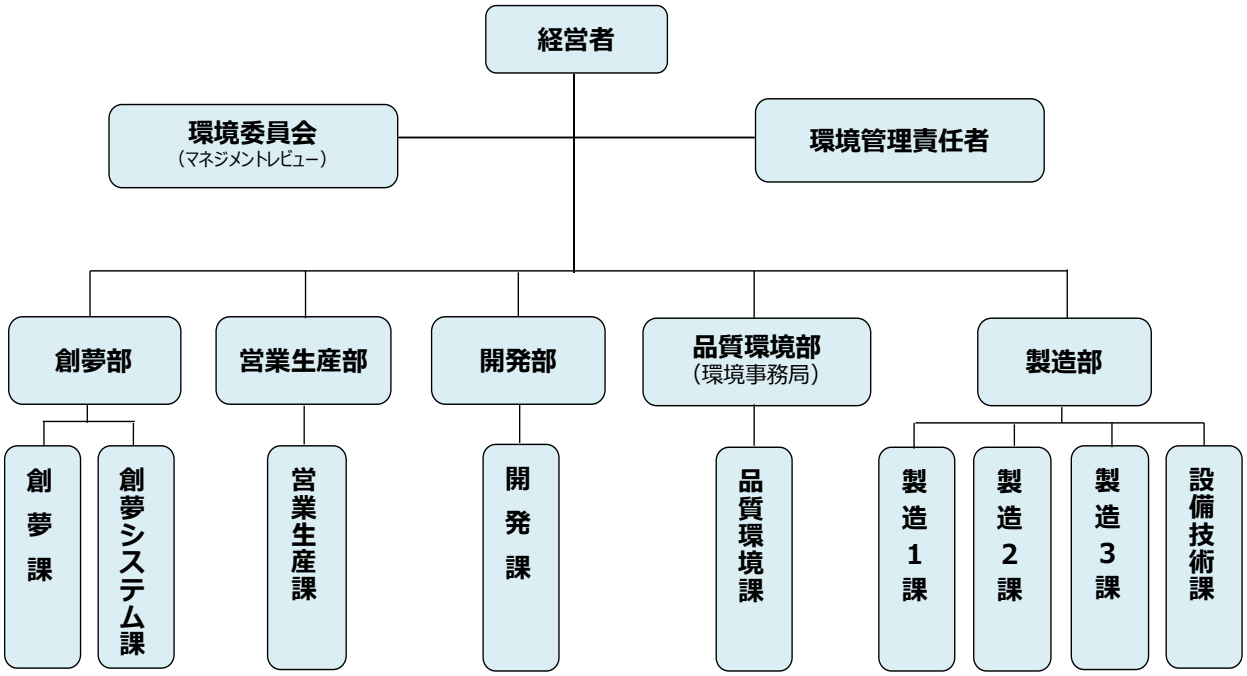
今後ともアスカコーポレーションの「環境諸活動」にご理解を頂き、ご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

２０２３年 １２月

アスカコーポレーション株式会社

代表取締役社長　阪 文孝

環境組織



当社は、環境に関する内部コミュニケーションの場として、「環境委員会」を設け、毎月開催しています。

環境方針

当社は「キラリ！人、技術、未来、そして自然！」という経営理念のもと、
キラリ輝く未来社会に向けて、「安全で環境と共生する会社」を事業方針に据え、環境活動の充実に取組んでいます。

環境方針

従業員一人一人が企業活動のあらゆる面で、SDGｓの主旨に沿って、
地球環境の保全に努め、豊かで安全な社会の構築に貢献することを目指して行動します。

【行動指針】

当社では、独自に培った技術を駆使し、半導体ウエハやリードフレーム及びその他の電子部品の表面処理を実施しており広く社会のくらしをサポートしております。
しかし、その加工や開発の過程では少なからず環境に影響を与えていることを認識し、次に掲げる環境活動を展開します。

1）私たちは当社が環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的な可能性を考慮して、次の事項につき　環境目的、目標を設定し、環境負荷の低減、環境汚染の予防及び環境保護に努めます。

①省エネルギー、省資源の推進
②工程の改善による材料の削減
③地域社会との環境調和
④排水基準の遵守

2）私たちは環境保全の仕組みについて、定期的に環境目的、目標の達成度をレビューし、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

3）私たちは環境法規制及び当社が同意した協定等その他の基準を順守します。

4）私たち組織で働くすべての者はCSR意識の向上に努め、積極的に地域の環境活動に参画し、地域住民との交流を図ります。

5）私たちはこの環境方針を内外に公表し、要求があったときはいつでも外部に公表できるようにします。

【適用範囲】

1．登録組織名称：アスカコーポレーション株式会社
（所在地、活動内容は会社概要に記載）
2．組織及び対象者の範囲：当社のすべての組織及び従業員
(派遣社員、ﾊﾟｰﾄ等を含む)に適用する。
3．影響を及ぼすことができる範囲：黍田工業団地、外注先、供給者、請負業者、他

環境マネジメントシステム

◆内部監査

規格要求事項及び当社が規定した要求事項に対する適合状況と環境マネジメントシステムが効果的に維持・運用されているかを検証することを目的に、年1回（毎年４月）に内部環境監査を実施しています。

内部監査では、現地確認をおこない、実際の管理状況などを確認しています。

内部監査の結果は環境委員会で報告し、是正の進捗確認をおこなっています。

◆ISO014001定期審査

当社は、2006年3月に環境国際規格であるISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得、2017年に2015年版移行審査を受審し取得しています。
審査結果は、不適合だけでなく、改善の機会も全て毎月開催している環境委員会で情報共有と対策の進捗確認をおこない、継続的改善に繋げています。

年　度	カテゴリA	カテゴリB	改善の機会	グッドポイント	ストロングポイント
2006年(1st/2ndステージ)	0	1	20	0	0
2017年(2015年版移行審査)	0	0	5	1	0
2018年(更新審査)	0	0	14	2	0
2019年(定期審査)	0	0	6	1	0
2020年(定期審査)	0	1	6	2	0
2021年(更新審査)	0	0	15	2	0
2022年(定期審査)	0	0	5	3	1
2023年(定期審査)	0	0	6	1	0

ISO 14001
マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-EM5274

登録事業者
アスカコーポレーション株式会社
福岡県糸島市下鍋番田４２７－８

当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを認します。

ISO 14001 :2015 ／ JIS Q 14001 :2015

登録日　：2006年 3月 24日
登録更新日　：2021年 3月 24日
有効期限　：2024年 3月 23日

一般財団法人 日本品質保証機構
東京都千代田区神田駿河台四丁目１－３５
理事長　小林 憲明

JQA

＜ISO14001：2015（JQA）＞

SDG s の取り組み

当社は経営理念の**「キラリ　人、技術、未来　そして自然」**をキーワードとして、国際社会全体の目標達成に向け、SDG s の取組みを事業活動に取り入れ、持続可能な企業を目指しています。

3 すべての人に健康と福祉を

・ペットボトルキャップ回収活動⇒ワクチン
・献血活動
・健康診断、婦人科検診、ストレスチェックの実施
・インフルエンザワクチン接種の推進
・AEDの設置
・防災訓練、安全推進大会、H/H活動

4 質の高い教育をみんなに

・職場体験イベント「のおがたわくわーく」の参画
・外部研修の積極的な参加
・公的資格の積極的な取得
・事業計画決起大会
・小集団活動発表会の実施

6 安全な水とトイレを世界中に

・排水管理（水質監視）
・浄化槽管理

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

・電気使用量の削減活動
・蛍光灯のLED化

8 働きがいも経済成長も

・高齢者雇用
・海外技能実習生の受入れ
・従業員年間表彰
・従業員のスポーツ観戦（ホークス観戦）
・社内旅行

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

・改善活動
・ICカード活用
・加工点管理システム

10 人や国の不平等をなくそう

・紛争鉱物調査の実施
・コンプライアンス教育の実施

11 住み続けられるまちづくりを

・直方清掃活動参加
・直方市イベント協賛
（夏祭り、チューリップフェア等）

12 つくる責任 つかう責任

・排水管理（水質監視）
・めっき薬品使用量の削減
・インクカートリッジの回収
・Niスラッジリサイクル
・紛争鉱物調査の実施
・環境管理物質調査の実施

13 気候変動に具体的な対策を

・電気使用量の削減
・CO_2排出量の削減
・ペーパーレス化
・エコバッグ活動

14 海の豊かさを守ろう

・排水管理（水質監視）
・Niスラッジリサイクル
・エコバック活動
・めっき薬品使用量の削減（工程改善）

15 陸の豊かさも守ろう

・電気使用量の削減
・CO_2排出量の削減
・植栽活動
・ペーパーレス化

17 パートナーシップで目標を達成しよう

・募金活動、鷹取学園への寄付
・めっき組合・九青会　会合参加
・黍田工業団地協議会参加
・各種スポーツ協会への協賛
・納涼祭の開催
・のおがた夏祭り、チューリップフェア参画

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境目標　2022年度実績

当社は、毎年6月に著しい環境側面、関連する順守義務、リスク及び機会を考慮した全社環境目標を策定し推進しています。

下表は2022年度の環境目標に対する実績です。（2022年度＝53期）
右欄には、環境目標とＳＤＧｓの関連を表しています。

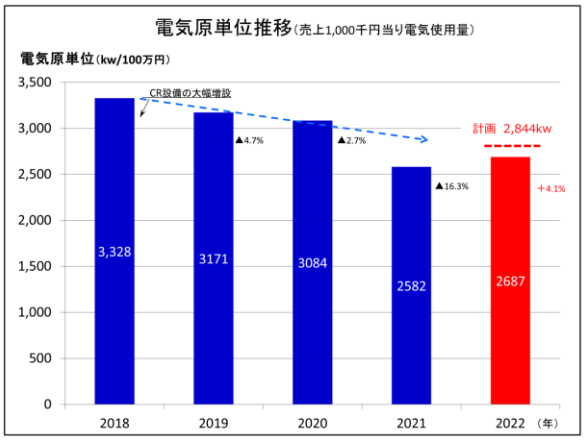
環境方針	環境目標（53期）	実績	評価	SDGｓとの関連
省エネルギー	電気使用量の削減 計画値比　1.0%削減	計画値比 10.5%削減	○ 達成	7 9 13
省資源	めっき薬品使用量の削減 前期比　3%削減	前期比 3%削減	○ 達成	9 12 17
地域社会との環境調和	緑地エリアの整備　4回以上/年 （除草、剪定、手入れ）	6回/年	○ 達成	15
	工業団地協議会への参加	新型コロナによる影響のため開催なし	—	17
	めっき組合会合参加 4回以上/年	16回/年	○ 達成	17
	のおがた夏祭り、チューリップフェア 協賛・参画	協賛・参画実施	○ 達成	15 17
環境保全活動	環境クレーム「0」の推進	環境クレーム 0件	○ 達成	11 12 14
環境法規制の順守	環境法規制に関連する届出 100%実施	届出100%実施	○ 達成	12 16 17
環境方針・環境取り組みの公表	環境年報の発行・公開 1回/年	2022年2月 環境年報公開	○ 達成	4 17
環境保全活動の継続的改善	CO_2排出量の把握 MRでの実績報告（1回/年）	排出量把握 MR実績報告実施 （5月）	○ 達成	7 13

環境目標に対する活動実績は、環境委員会で毎月進捗確認をしています。

また、毎年5月に実施されるマネジメントレビューで、年間の活動実績を報告し、有効性評価の結果を基に改善につなげています。

環境負荷実績

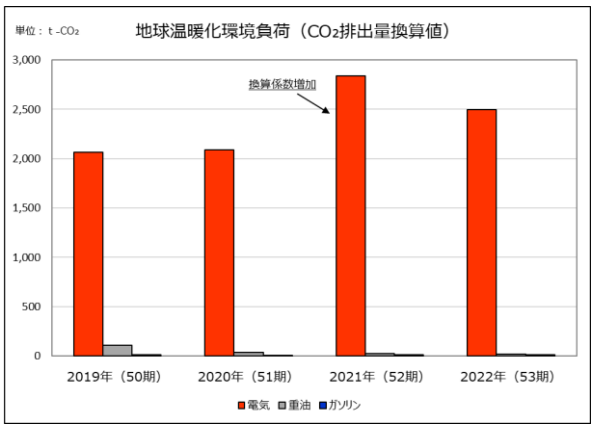
◆電気使用量



電気使用量は原単位管理を実施しており、毎月実施している環境委員会で、電気使用量の実績報告をおこなっています。

2022年度はデマンド管理、インフラ装置の集約、クリーンルームの空調節電モード設定、及び生産性向上による電気使用量の削減に努め、計画値比に対する目標を達成することが出来ています。

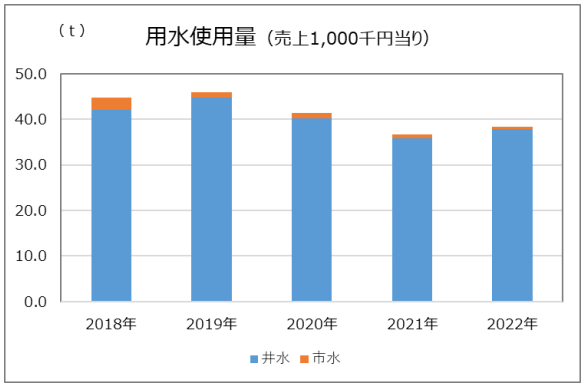
◆CO_2排出量



当社のCO_2排出の最大エネルギー源は電気で、ASKA全体の約98%を占めています。
電気使用量を削減することで、地球温暖化防止（CO_2排出量の削減）に努めています。

2022年度は電気使用量の削減取り組みを行いながら、月単位でのCO_2排出量を監視し、毎月、環境委員会で実績報告をしています。

◆用水使用量



当社で使用する用水は、主に井戸水を使用しており、用水使用量全体の98%を占めています。

限りある貴重な資源である水を大切に使用する為、毎月、各部署で用水使用量を記録し、環境委員会で実績報告をおこない、使用量の適正管理をしています。

法令遵守

◆ 騒音

事業活動で発生する「騒音」については、直方市の告示で第３種地域に該当しており、1回/年、定期測定を実施し、測定結果から全く問題ないﾚﾍﾞﾙであることを確認しています。

◆ 水質管理

水質汚濁防止法に係る「特定施設」を保有しており、各ﾗｲﾝからの排水は排水処理施設にて処理されます。
工場の排水は24時間ﾘｱﾙﾀｲﾑで管理し、直方市との公害防止協定で締結した15項目の規制基準の遵守に努めており、規制値違反、外部環境ｸﾚｰﾑ(苦情)等の発生ゼロを継続しております。

（単位：mg/L）

項目	水質汚濁防止法	福岡県条例 上乗せ基準	協定	社内基準
pH	5.8～8.6	—	6.5～8.5	6.7～8.0
銅	3	—	—	2.5
亜鉛	2	—	2	1
COD	160 （日間平均120）	120 （日間平均90）	60	50
BOD	160 （日間平均120）	120 （日間平均90）	—	100
鉛	0.1	—	0.5	0.1
シアン	1	—	0.5	0.2
ふっ素	8	—	—	6
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	—	—	80

項目は一部抜粋です

＜写真は排水処理設備全景＞

法令遵守

◆ 環境法規制の改正状況確認、順法性評価の実施

当社は2回/年、当社に該当する環境法規制の改正状況を確認し、最新情報を入手しています。また、 1回/年、各環境法規制に対する順守状況の確認をおこない、順法性評価をしています。
改正情報や順守評価結果は環境委員会で報告し、全部署に情報共有をおこなっています。

◆責任ある鉱物調達（紛争鉱物）への対応

当社は、企業の社会的責任（CSR）を推進していくため、紛争鉱物調達方針を掲げ、紛争鉱物対応方針に沿った取り組みを実施しております。

紛争鉱物対応方針

当社は、紛争地域および高リスク地域（CAHRAs）における児童労働や強制労働などの人権侵害、環境破壊、贈収賄などのあらゆるリスクや不正に関わる組織の資金源となる恐れのある３TG（タンタル、スズ、タングステン、金）、コバルトなどの鉱物調達に関し、以下の内容を推進致します。

・鉱物調達に際し、紛争地域及び高リスク地域（CAHRAs）からの鉱物に対し、調達取引先と協力して、経済協力開発機構（OECD）が定めた「紛争地域及び高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデューディリジェンス・ガイダンス付属書Ⅱ」に記載されているリスクの有無を確認します。
・サプライチェーンにおいて、リスクの可能性がある場合は、調達取引先を通じて是正要請を行います。

紛争鉱物調査結果

調達取引先に協力頂き、紛争鉱物調査を行った結果、紛争鉱物の使用はございませんでした。
2023年度もお客様からの紛争鉱物調査依頼に対する回答率は100%を継続しております。
また、コバルト、マイカに関してもEMRT（拡張鉱物報告テンプレート）を使用して調査を進めております。今後もお取引先様の協力のもと、責任ある調達に向けた取り組みを推進していきます。

地域との調和（コミュニケーション）

◆のおがたチューリップフェア、のおがた夏まつりの協賛・参画

当社は遠賀川河川敷で毎年行われる直方市が主催している『のおがたチューリップフェア』、『のおがた夏まつり』に協賛・参画しています。

チューリップフェアに向けての球根植えや草抜き、夏まつりの翌日に実施される清掃活動といったボランティア活動に参加し、地域住民の方との交流を図っています。
地域活動を通して従業員の環境に対する意識向上にもつながっています。

また、2022年9月に直方リバーサイドパークで開催された音楽イベント『MAKE A MONOGATARI 2022』のイベント翌日の清掃活動にも参加させて頂きました。
コロナ禍に「たくさんの人に、家族のつながりを感じ、家族との大切な物語を作って欲しい」という想いから始まったこのイベントに賛同し、協賛させて頂くことで、直方市の地域活性化に少しでも寄与出来ればと考えております。

球根植え
（2022年11月）

草抜き
（2023年3月）

のおがたチューリップフェア2023
（2023年4月）

夏まつり後　翌日の清掃活動
（2023年8月）

清掃後の集合写真

年次トピックス

◆「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」（2022年10月）

福岡県が県民の健康づくりへの意識の醸成、定着を図り、もって県民の健康 寿命の延伸を図ることを目的として実施している「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に、2022年10月に登録致しました。

ふくおか健康づくり団体・事業所宣言
登録証

アスカコーポレーション株式会社 殿

貴団体・事業所は、次のとおり健康づくりに関する取組を宣言されましたので、これを登録します。

令和4年10月16日

福岡県知事 服部 誠太郎

片平 祐之

KENKO FUKUOKA

宣言内容

特定健診の受診率の向上に関すること：
健診受診率を100%にします。

がん検診の受診率の向上に関すること：
女性従業員の乳がん・子宮がん検診の受診を勧めます。

運動習慣の定着に関すること：
就業前にラジオ体操を行います。

禁煙（受動喫煙の防止を含む。）に関すること：
建物内・社用車内を禁煙とし、喫煙場所は屋外に設置します。

当社の宣言内容は以下の通りです。

- 特定検診の受診率の向上に関すること：
  健康受診率を100%にします。
- がん検診の受診率の向上に関すること：
  女性従業員の乳がん・子宮がん検診の受診を勧めます。
- 通勤習慣の定着に関すること：
  就業前にラジオ体操を行います。
- 禁煙（受動喫煙の防止を含む。）に関すること：
  建物内・社用車内を禁煙とし、喫煙場所は屋外に設置します。

ＮＰＯ法人福岡子どもホスピスプロジェクト募金活動（2023年3月）

当社は、NPO法人福岡こどもホスピスプロジェクトの活動に賛同し、募金活動を行いました。集まった寄付金は直方ライオンズ様を通して寄付させて頂きました。

NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクトとは

2009年に九州大学の学生有志や他団体との連携により、重い病気や障害をもつお子さんとその家族のおかれた環境を考える取り組みをおこなう任意団体として発足されました。子どもホスピスの目的の一つである子どもたちに経験を提供するためのイベントや交流、市民フォーラムの開催などをしてきました。

2014年には、NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクトとして新たに出発し、子どもと家族の支援を広く行いながら、福岡に子どもホスピスを設立することを目指しています。

環境活動

◆工業団地の清掃・植栽活動

毎朝、朝礼後に分担して10分間、工業団地入口坂道スロープ周辺を清掃しています。
また、定期的に駐車場や工業団地坂道の草刈りも実施しており、清掃活動を通して美化意識の向上につながっています。

工業団地入口スロープ清掃

工業団地スロープ、駐車場の草刈り

◆マイバッグ活動

2020年にレジ袋が全面有料化され、今では多くの方が活用しているエコバッグですが、当社でもSDGｓの活動の一環として、エコバッグ活動を行っており、各部署に配布し、会社で必要なものを購入する際に使用しています。

◆ペットボトルキャップ回収活動

当社は2020年度より、ペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。

回収したキャップは、特定非営利活動法人を通じて、再資源化企業に売却され、売却益の一部をJCV（NPO法人「世界のこどもにワクチンを」）に寄付しております。

今までの累計で17,415個回収しており、約20人分のワクチンを提供することが出来ました。

エコキャップ
受　領　書

特定非営利活動法人
全国障害者福祉施設協会

アスカコーポレーション株式会社 様

2023 年 9 月 22 日　下記の通り受領致しました。

今回個数　9,890 個（　23 kg）

累計個数	累計ワクチン数	CO_2削減効果
17,415 個	20.3 人分	127.58 kg

ご提供ありがとうございます。

アスカコーポレーションのオールスターキャストです

２０２３-１-５撮影

■ 編集後記

「環境年報２０２３」をお読み頂きありがとうございます。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」となり、各地では感染防止対策を講じながら、さまざまなイベントが再開され、コロナ前の日常が戻りつつあるのを感じます。
当社も2023年8月に4年ぶりとなる納涼祭を開催し、地域交流の場を設けることが出来ました。

今後も社会情勢や環境の変化によって、さまざまな課題に直面することがあるかと思いますが、常に私たちに出来ることを考え、変化に応じた活動をおこなって参りたいと思います。

記事に関するご質問やご感想、また弊社に対してのご要望などがございましたら
裏面記載の連絡先までご一報ください。
ありがとうございました。

Corporate Statement

キラリ！未来技術をアシスト

アスカコーポレーション株式会社

品質環境部 環境事務局

〒 822-0007 福岡県直方市大字下境字黍田427-8

TEL 0949-23-0331　FAX 0949-28-2941

URL https://www.aska-plating.co.jp

2023-12 発行